



速報 第19号

2017年1月25日

第46回全国ろうあ女性集会 in 鹿児島

夢・ときめきを未来へつなげよう！ 鹿児島の地から

噴き上がれ 桜島のごとく 熱き想いを仲間と語り 未来への懸け橋となろう！



2016年10月28日(金)~30日(日)

発行：第46回全国ろうあ女性集会 鹿児島県実行委員会 (一社)鹿児島県聴覚障害者協会女性部

所在地：〒890-0021 鹿児島市小野1丁目1番1号 ハートピアかごしま 3階 (一社)鹿児島県聴覚障害者協会

問合せ：TEL 099-228-2016 FAX 099-228-6357 E-Mail : main@kagoshima-deaf.jp

Site : <https://the46thdeafnessnationalwomanmeeting.wordpress.com>

記念講演

テーマ「母への想い」

高田氏の記念講演を拝聴しました。個人的なことを話すのは初めてとのことで少し緊張されていた様子でした。テーマは「母への思い」。戦時中の食糧難の時代に自家中毒によって聴力を失い平衡感覚も不安定になり大変な幼少期を過ごされたことを聞き驚きました。お母さまは、それを嘆き続けるのではなく、いかにしたら高田氏らしく生きていけるのかを模索し続け、常に未来を見つめておられて講話の中で母の強さを感じました。お嬢さま育ちなのに子供のためには身を挺して動いておられました。もちろん高田氏の努力なく今の活動は成り立たなかったでしょう。また、進学や就職に必要な学問を周りの理解と応援で日々努力し習得し達成へと邁進した実行力。すべてがご両親から受け継いだものだったのだらうと思います。3部構成になっていて青年研究討論集会や世界ろうあ連盟、などろうあ運動のこともわかりやすく解説してくださいました。手話サークルと共に活動することの大切さ、そして家族にろうあ者がいたら家族はみな手話を使えるようにするべき。まさに全国のろうあ者が願っていることではないでしょうか。家族に限らず友人、知人、地域、職場、もちろん公的機関でも普通に手話で話せるようになりたいです。常にろうあ者の未来を見据えて活動を続けている高田氏のエネルギーの源はきっと、お母さまからの愛情だったのでしょう。素晴らしいご講演ありがとうございました。感動いたしました。



高田英一氏 講演している様子

**実行委員・要員・情報保障
国立リハビリセンター・関係者の皆様
本当にありがとうございました(^^)**



来年は群馬県にて開催！！

2017年10月27日(金)～29日(日)

**会場
伊香保温泉
ホテル天坊**



～御礼～

実行委員をはじめ、要員・情報保障の皆様、国立リハビリセンターの皆様、関係者の皆様のお陰で「第46回ろうあ女性集会 in 鹿児島」無事に終わることが出来、ホッとしています。

全国ろうあ女性集会という規模の大きい集会は、私たちにとっては初めての経験でありましたが、試行錯誤しながらも色々と準備を進めてきました。ですが開会式典や全体集会時は、こちら側の準備不足でプログラムが多少変更になり、ご迷惑をかけたことを深くお詫び申し上げます。誠に申し訳ありませんでした。交流会、最後に一緒に踊る予定をしていますが途中で盛り上がり、一緒に踊るとは思いもしませんでした。この時、私達も非常に嬉しくなりました。逆に皆様から多くの感動をいただくことになり本当にありがとうございました。高田英一氏から、ろう活動や家族のいろいろな素晴らしい話を聞かせて頂き、心に残る講演をいただきました。有難うございました。まだまだ未熟な私共にこのような機会を与えていただき、おかげさまで、いろいろな経験をすることができました。この経験をこれからの活動や人生にぜひ生かし努力していかなければと再確認いたしました。実行委員、要員、情報保障、国立リハビリセンターの皆様、関係者の皆様、ご協力いただき本当にありがとうございました。

実行委員長 木原田 妙子